

第91回 東京女子医科大学学会総会

The 91st Annual Meeting of the Society of Tokyo Women's Medical University

脳神経疾患の診断法や治療法は、大きく変貌しています。アルツハイマー型認知症では、脳に蓄積するアミロイドβをとりのぞく抗体点滴治療が始まっています。多発性硬化症や視神経脊髄炎関連疾患、重症筋無力症には、続々と抗体治療薬が開発され、再発や悪化の可能性が大幅に低下しています。脳血管障害の予防や緊急治療のためのカテーテル治療も日進月歩です。脳梗塞の最大の原因である心房細動に対しても、心臓デバイス治療による効果で再発を減らせる時代になっています。パーキンソン病やジストニアなどの不随意運動疾患には、標的となる脳の部位に対して実施する定位的脳手術が進歩しています。これらの最新治療と未来地図について、講演いただきます。

13:30
～
13:35

三谷 昌平 (東京女子医科大学学会 会長)
会長挨拶

13:35
～
13:40

藤堂 謙一 座長 (東京女子医科大学 脳神経内科 教授)
挨拶・趣旨説明

13:40
～
14:00

吉澤 浩志 (東京女子医科大学附属
八千代医療センター 脳神経内科 准教授)
**大きく変わる認知症診療
～必須となった早期診断と早期治療～**

14:00
～
14:20

池口亮太郎 (東京女子医科大学 脳神経内科 講師)
神経免疫疾患の最新治療

14:20
～
14:40

長谷川 瞬 (東京女子医科大学 循環器内科 助教)
**左心耳を閉じる心臓デバイスで脳卒中を防ぐ
～心臓から考える脳の未来～**

14:40
～
15:00

石川 達也 (東京女子医科大学 脳神経外科 講師)
最新の脳血管内治療 ～未破裂脳動脈瘤～

15:00
～
15:20

金 吉秀 (東京女子医科大学 脳神経外科 助教)
最新の機能神経外科治療

15:30
～
16:00

パネルディスカッション



公開シンポジウム
**変貌する脳神経診療
最新治療と未来地図**

2025

9/27 土

13:30 ▶ 16:00

申込不要 参加無料

現地会場

**東京女子医科大学
弥生記念講堂**

東京都新宿区河田町8-1

※総会はWEB決議
※学会サイト ➡ にて随時更新
※後日にオンデマンド配信予定
※日本医師会生涯教育制度参加証
2.5単位/コード29を交付

同時配信



学会サイト



共催 ◇ 東京女子医科大学病院、女子医大医師会
問合せ先 ◇ 東京女子医科大学 彌生記念教育棟1階図書館内 学会室

